

職業奉仕

(Vocational Service)



職業奉仕とは



奉仕の第二部門である職業奉仕の目的は、事業及び専門職務の道徳的水準を高め、あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理念を生かしていくことといわれております。

ロータリーが発足して間もなく、アーサー・フレデリック・シェルドンが提唱した“ He profits most who serves best ”「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というモットーのもと、ロータリアン一人ひとりの責任として、各々のロータリアンが各自の職場で個人的な貢献を行ってきました。一時、決議23 - 34に見られるように、職業奉仕・社会奉仕に関する論争がおり、ロータリー分裂の危機を迎えたこともありましたが、職業奉仕はロータリーの看板として、ことに日本のロータリアンに信奉されてきました。



職業奉仕の新方針



長い間、開催されなかったR I職業奉仕委員会が40年ぶりに1987年に開催され、1987 - 88年度R I理事会は「職業奉仕は会員個人とクラブ双方の責任である」という「職業奉仕の新方針」を発表しました。

クラブの役割は、たびたび職業奉仕を実践してみせることによって、また、クラブ自身の行動に職業奉仕を生かすことによって、模範となる実例を示すことによって、さらに、クラブ会員が自己の職業上の手腕を発揮できるようなプロジェクトを開発することによって、目標を实践、奨励することである。とされています。

1. 職業情報

職業奉仕を始めるには、まずクラブとして会員の職業奉仕に対する理解を深めさせることが必要である。

・職業分類談話 ・会員の事業所見学 ・グループ討議

2. 職業活動表彰

職業上の美德を奨励し、高度な道徳的水準の実践に導く上で重要かつ効果的方法。

3. 就職相談

主として青少年の就職に力を貸し、雇用につとめる。

4. 職業指導

地域社会内に雇用の機会をふやし、「四つのテスト」の適応、推進をはかる。

5. ロータリー趣味、職業別親睦活動

1993年、国際職業連絡グループと世界親睦活動が合併して形成された。
現在では、グローバルネットワークの中の「ロータリー親睦活動」となっている。

6. その他

空席の職業分類に会員を入会させる会員増加活動などがある。



職業奉仕の課題



会員の減少によってすべての奉仕団体は存亡の危機に立たされています。

それを打開するためにも、ロータリーの固有の奉仕理念は変えてはなりません。ロータリーが他の奉仕団体と本質的に違う点は、職業奉仕の概念を持っていることです。職業奉仕の理念を捨て去って、ボランティア組織に移行することの愚かさを自覚しなければなりません。今からボランティア組織に看板を塗り替えたところで、数ある先発ボランティア組織の影に埋没してしまうことは必至です。

ロータリー・クラブ、ことに日本のロータリー・クラブをあくまで職業奉仕の団体として、守り育てて行くことが大切です。職業奉仕はあくまで、個人奉仕であるという原則は貫いていくべきでありましょう。 (出典：ロータリーの源流 R I 2680地区 田中毅PDG)



職業奉仕とロータリーの行動規範

ロータリー・クラブは、会員が自らの職業を正しく行い、業界全体の倫理的水準を向上させ、ひいては地域社会の発展を成し遂げようという、職業を通しての奉仕、「職業奉仕」を行うことが、他の奉仕団体にはない特徴です。

職業奉仕に関する声明 (Statement on Vocational Service)

職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理念を生かしていくことをロータリーが育成、支援する方法である。職業奉仕の理念に本来求められているものは次のものである。

- 1) あらゆる職業において最も高度の道徳的水準を守り、推進すること。その中には、雇主、従業員、同僚への誠実さ、忠実さ、また、この人たちや同業者、一般の人々、職業上の知己すべての公正な取り扱いも含まれる。
- 2) 自己の職業またはロータリアンの携わる職業のみならず、あらゆる有用な職業の社会に対する価値を認めること
- 3) 自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てること

職業奉仕は、ロータリー・クラブとクラブ会員両方の責務である。クラブの役割は、模範となる実例を示すことによって、また、クラブ会員が自己の職業上の手腕を発揮

できるようなプロジェクトを開発することによって、目標を実践、奨励することである。クラブ会員の役割は、ロータリーの原則に沿って自らと自分の職業を律し、併せてクラブ・プロジェクトに応えることである（ロータリー章典8.030.1）。

2011年9月、R I 理事会は、地域社会のリーダー、退職した人、現在専門職や仕事に従事していない人が含まれている、現在のロータリー・クラブの会員に関する規定の変更に注目し、ロータリー・ブランドを強化するために1989年制定された『ロータリアンの職業宣言』を修正して、次の『ロータリー行動規範』を創設しました。

ロータリーの行動規範 (Rotary Code of Conduct) (2011年9月理事会で承認)

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

- 1) すべての行動と活動において、高潔性と言う中核的価値観の模範を示すこと
- 2) 職業の経験と才能をロータリーでの奉仕に生かすこと
- 3) 高い倫理基準を奨励し、助長しながら、個人的活動および事業と専門職における活動のすべてを倫理的に行うこと
- 4) 他者との取引のすべてにおいて公正に努め、同じ人間としての尊重の念を持って接すること
- 5) 社会に役立つすべての仕事に対する認識と敬意の念を推進すること
- 6) 若い人々に機会を開き、他者の特別なニーズに応え、地域社会の生活の質を高めるために、自らの職業的才能を捧げること
- 7) ロータリーおよびロータリアンから託される信頼を大切にし、ロータリーやロータリアンの評判を落としたり、不利になるようなことはしないこと
- 8) 事業または専門職上の関係において、普通には得られないような便宜ないしは特典を同輩ロータリアンに求めないこと



四つのテスト



職業人としてのロータリアンの心構えを、ロータリーの倫理基準から具体的に記述したものが「ロータリー倫理訓」だとすれば、それをロータリアンのみならず一般の職業人にも理解できるように、簡潔かつ的確にまとめたものが「四つのテスト」です。

ハーバート・テラーは、倒産に瀕していたクラブ・アルミニウム社の社長に就任し正しい営業活動を行えば必ず会社が再建できると考え、「四つのテスト」を示しました。同社の業績は改善を続け、5年後には借金は完済、15年後には株主に多額の配当金を分配するまでになりました。

1954年、彼がR I 会長に就任したとき、その著作権がロータリーに譲渡されました。四つのテストは世界各国の言葉で翻訳され、広く活用されています。

「四つのテスト」の解釈

Four-Way Test 四つのテスト

「事業を繁栄に導くための四通りの基準」ならば、当然“Four-Way Tests”と複数形になります。これが単数形なのは事業を繁栄に導くためには、四通りの基準を一つずつクリアーすればいいのではなく、四つ纏めたものを一つの基準として、そのすべてをクリアーしなければならないことを意味します。

Is it the truth? 真実かどうか

「嘘偽りがないかどうか」という意味です。真実というのは「80%の真実」という言葉が示すように、人間の心を通じたアナログ的判定であるのに対し、事実とは有ったか無かったかの二者択一を迫るデジタル的判定ですから、ここでは「事実」という言葉を用いるべきでしょう。

Is it fair to all concerned? みんなに公平か

“fair”は公平ではなく公正と訳すべきです。公平とは平等分配を意味するので、例え贈収賄で得た“unfair”不正なお金でも平等に分ければ、それでよいこととなります。

“All concerned”は“All”だけが訳されており、肝心の“concerned”が省略されています。この“concerned”は取引先をさすのは明白です。従ってこのフレーズは「すべての取引先に対して公正かどうか」ということを意味します。

Will it build goodwill and better friendship? 好意と友情を深めるか

“goodwill”は単なる好意とか善意を表す言葉ではなく、商売上の信用とか評判を表すと共に、店の暖簾や取引先を表します。すなわちその商取引が店の信用を高めると同時に、よりよい人間関係を築き上げ、取引先を増やすかどうかを問うものです。

Will it be beneficial to all concerned? みんなのためになるかどうか

“Benefit”は「儲け」そのものを表す言葉です。ただし、売り手だけが儲かったり、また買い手だけが得をしたのでは公正な取引とは言えません。その商取引によって、すべての取引先が適正な利潤を得るかどうか問題なのです。

(出典：ロータリーの源流 R I 2680地区 田中毅PDG)

「四つのテスト」の複製並びに使用

四つのテストを複製あるいは使用する唯一の目的は、人間関係における高度の道徳的水準の向上を図り、それを維持することである。複製は販売や利益を増すための広告と結び付けてはならない。しかしながら、商社、団体または公共機関の人間関係のすべてが四つのテストの方針に沿って実施されることを願って真剣に努力していることを説明するような方法としてならば、書簡箋やその他の印刷物に使用してもよい。四つのテストの複製はすべて上記の形式で作成されなければならない。

